

News

ウェルネス



No.129

ウェルネス小畑歯科医院

子どもの歯を守る会

会報 1998年2月創刊

〒640-8401

和歌山市福島324-1

☎073-455-9874

<https://www.wellness-kobata-dc.com/>

歯科金属アレルギーのまさか!?

連日の猛暑が続いていたかと思えば、太平洋側から関東側へ抜けるという異例の進路をたどった台風12号。かたや、ヨーロッパでは異常な頻度で巨大な積乱雲が出現。世界中で想定外の異常気象が続いています。そして歯科の世界でも「まさか!？」ということが起こっています。というのもここ数年、金属アレルギーの患者さんが皮膚科からの紹介で当院を受診されることが多くなりました。ある患者さんは脱毛や、手足に発疹や水疱を伴う症状を合併していました。その原因はなんと、口内の銀歯だったのです。口とは関係のない離れた部位で、脱毛や手足にアレルギー症状がでていたのです。

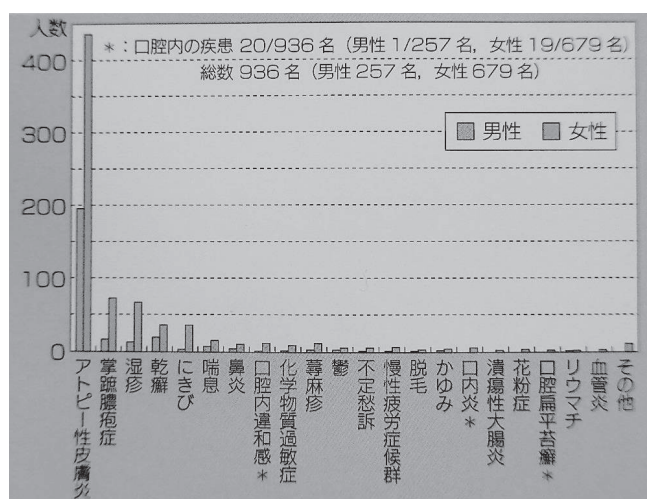


歯科金属アレルギーは遠隔の皮膚で症状が現れる!?

一般的に金属アレルギーといえばアクセサリーをつけてかぶれてしまうイメージではないでしょうか。金属と接触している部位で汗をかくと金属が溶けてイオン化します。そして皮膚のタンパク質と結合しアレルギー症状が生じます。この接触性皮膚炎は金属アレルギーじゃないかと自分で気づきやすいのが特徴です。

ところが、歯科金属が原因の場合は自分では気づきにくいので、非常に厄介です。口に症状が出るのは、わずかに約2.1%と極めて少ないことがわかっています(図1)。つまり歯科金属アレルギーは口の中の金属が原因であるにもかかわらず、その症状はほとんど口から離れた皮膚に発症するということです。

歯科治療において金属はよく用いられています。うまく使えば長期間に渡って口の中で機能する万

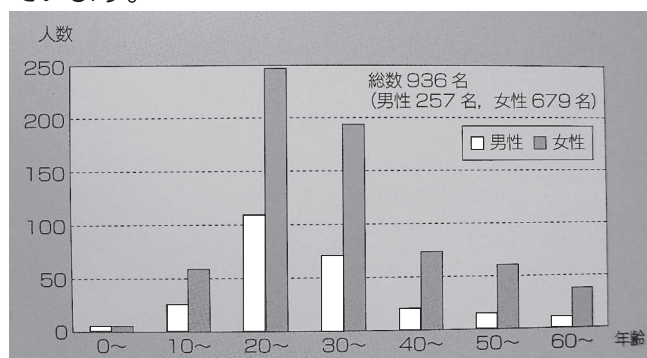


▲図1

能な材料で、昔から重宝しています。ですが、歯科金属も金属である以上、例外なく金属アレルギーを引き起こす可能性があるのです。

歯科金属アレルギーは女性に多い

金属アレルギーに罹患している方は年々増加しており、今後も増えていく見込みです。日本人の10人に1人が発症しているといわれるほど一般的な皮膚疾患となりました。またその内訳は男性よりも圧倒的に女性に多いことが報告されています(図2)。年齢別では男女とも20~29歳が最も多く、性別は全体で女性が男性の約2.6倍以上、50~59歳ではなんと男性の約4倍という結果が報告されています。



▲図2

ではなぜ女性に多いのでしょうか。その理由としては、そもそも現代社会は女性が金属アレルギーを発症しやすい環境だからだといえます。アクセサリー等の装飾品以外にも、化粧品(口紅など)、ヘアカラー剤、日焼け止めなどにも金属は含まれています。しかしながら、金属アレルギーに対応した製品はあまり普及していません。また使用する側にも金属アレルギーに対する正しい知識が少ないという事も原因の一つでしょう。

厚生労働省による「平成27年度家庭用品等に係る健康被害病院モニター報告」の結果では、ニッケルに反応している女性が多いと報告されています。ニッケルは安価で美しい艶や輝きを出し、扱いやすい事もあり装飾品などに多く使用されているためです。

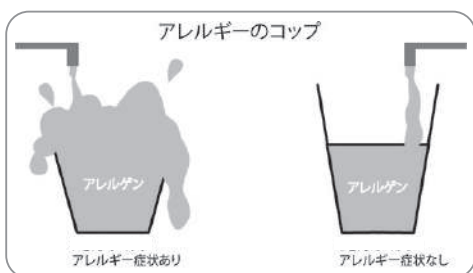
ちなみに、歯科でもニッケルを使う場合がありますがニッケルアレルギーの場合はレジン(歯科用プラスチック)やチタンなどの他の金属を代用します。メタルフリーの治療が普及しつつありますが、歯列矯正や入れ歯は金属でないと治療が困難な場合もあります。

コップ理論とは？

ひとつの疑問が生まれます。今まで口内に銀歯はあるし、金属を身に着けていてもアレルギー症状は一切なかった。でも突然発症する人がいます。ということなのでしょう。

これはコップ理論で説明できます(図3)。コップを人間の身体、水をアレルギー物質とします。コップに水を注ぎます。コップが小さいと水を少し入れただけでも水はすぐに溢れてしまいます。この溢れた状態がアレルギーの発症を表します。コップが大きければ、ある程度水を入れても溢れません。しかしコップがいくら大きくても、大量に注がれた場合には、すぐに水は溢れてしまいます。金属アレルギーを発症する方は金属に触れる機会が多いことに加え、コップ、つまり生体の許容量の大きさにもよるわけです。

コップの大きさ(生体許容量)は、人によって大きく変わります。子供と大人でも違い、全身の状態や生活環境によっても変わってきます。体調



▲図3

不良、睡眠不足、ストレス、食生活の乱れなどでコップの大きさは変化します。コップに入れる水の量を少なくすることも大切ですがコップそのものを大きくすることも重要です。

歯科衛生士が大活躍

歯科の金属が原因の場合、前述のように口内の粘膜とは関係のない、遠隔の皮膚で発症する場合があります。仮に足に水疱や発疹があったとしても、わざわざ皮膚の専門家ではない歯科医には話しません。そこで活躍するのが歯科衛生士です。歯科衛生士は時間をかけて患者さんの口内のお手入れをしていきます。その際にふと話したことがきっかけで、金属アレルギーの疑いが発覚することもあるのです。

ただ、疑わしいからといってすぐに金属を除去するわけではありません。最初に必ず皮膚科との連携が必要です。まずは皮膚科でパッチテスト(金属が溶け込んだ液を絆創膏みたいなもので背中に貼り付けて、肌の反応を見る)という検査をしてもらい診断を得る必要があります。

口内に銀歯があって、なかなか治癒しない皮膚疾患がある方は担当歯科衛生士に話してみてもいいかもしれません。

金属アレルギーの方は白い歯が保険適応に！

以上、歯科金属によって引き起こされる金属アレルギーについて紹介してきました。ただ誤解しないで頂きたいのは、歯科金属そのものは悪者ではありません。一般的には安全性が確認されているものです。また強度もあり歯によく馴染みます。良い面もたくさんあります。金属なしの歯科治療は考えにくいでしょう。

最後に、今まで金属アレルギーの治療費は軽自動車一台分に匹敵するほどでした。それが、今年の4月に改定された歯科保険で保険治療が適応になりました。皮膚科で金属アレルギーと診断され紹介状を書いてもらう、国の指定した材料のみ、など細かいルールはあります。しかし、心当たりのある方は悩まずスタッフにご相談ください。

(歯科医師・竹岡高志)

<参考文献>

見分けて治そう！歯科金属・材料アレルギー 編著 高 永和



MFT Q&A

先日、歯列矯正を受けている子どもの保護者様に、MFT(舌癖の機能訓練)に関するアンケートを実施しました。たくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。この結果は担当スタッフ間で共有し、スキル向上に努めていきます。

今回お答えいただいたアンケートの中で、「家庭でのトレーニングを困難に感じているかどうか」という問いに、理由は様々ですが、全体の64%の方が難しく感じていることがわかりました。今回は、その対策をお答えしていきたいと思います。

Q.トレーニングするのをつい忘れてしまう。



歯科衛生士
於久 茉衣

歯医者から帰ったら、宿題のカードはどこに置いていますか？帰宅したらまずカードホルダーを食卓に置くことをおすすめします。食事は毎日忘れませんよね？他にも何か毎日欠かさずやっていることがあるなら、そのとき目につく場所においておくようにすれば毎日忘れずできると思います。

Q.トレーニングの成果がわからない。



歯科衛生士
濱端 真優

舌癖がある子は、単にお行儀や癖というだけの問題ではなく、正しい飲み込みの動きや、口を閉じて鼻呼吸するために必要な基礎的な筋力が弱いのです。小畑歯科でのMFTは、まずこの筋力を鍛えるトレーニングから始めて、一定の筋力がついてから癖を正す訓練に移行します。時間をかけ少しずつ改善していきます。

Q.練習をイヤがってやってくれない。



歯科衛生士
坂本 純子

お子様が練習をしたくない理由は様々だと思いますが、親と本人の「歯並びや舌癖を治したい」という気持ちは共有できていますか？めんどくさい、やりたくないと感じる理由に共通しているのは、何のためにやらなくてはならないのか、どうして歯列矯正をしているのか目的が明確でないことが多いようです。歯並びをきれいにしたい理由は、「笑顔に自信がもてる子になってほしい」、「むし歯や歯周病のリスクを軽減したい」、「何でもよく噛める健康な体に育ってほしい」などが挙げられると思います。そのような想いがあることをお子様と話し、その目標に向かうためのトレーニングであることを認識できれば、自らすすんで取り組めるようになる子が多いように感じます。

どうしても本人が納得できず、ご家庭でのトレーニングが難しいときは、無理に継続せずいったん中断します。舌癖は何年もかけて形成されているため、家でトレーニングしないまま月一回の来院時の指導だけでは改善は困難です。治したいという本人の意思と、ご家族の協力体制が整った時が治しどきです。トレーニングがうまくいかないと感じる方は担当スタッフにご相談ください。

(歯科衛生士・弓場末紗樹)

黒部源流を訪ねて ～雲の平と周辺の山々～

登山をする人なら一つや二つ憧れの山はあると思う。毎年山行計画をたてるが、天候や休日の都合で計画倒れになってしまう。行きたいのに行けない、思いは募る憧れの山。わたしの場合は、雲の平とその周辺の山々がそうであった。

登山を始めて30余年。北アルプスの山々をいくつか登った頃から、槍・穂高岳連峰のずっと向こうに雲の平という山域(黒部川源流域)があり、その到達の困難さから「日本最後の秘境」と呼ばれていることを知った。調べてみると3ヶ所ある登山口のどこから入山しても、よほどの健脚でない限り入山に2日、下山に2日必要とする。悪天候などに備え、予備日を加えれば一週間だ。また相応の体力も必須となる。思い立ってすぐ行ける場所でないことは理解できた。そんな中、「黒部の山賊～アルプスの怪～」(伊藤正一著)と出会った。

それは、終戦直後の黒部源流域に生きる猟師(山賊)たちと、ひよんな縁から山小屋経営者と



なり、彼らと黒部の自然に深く関わることになった航空機の元エンジニアである著者の物語で、雲の平周辺が舞台となっている。

山小屋の権利を買い取った著者だが、そこには山賊が居座っていた。その山賊は、多くの手下を従えた前科30犯以上の凶悪犯であり、登山者や猟師から金品や獲物を巻き上げ、黒部の行方不明者はすべて彼らに殺されたといううわさまであるほどだった。著者は何も知らない登山者のふりをして山小屋を訪れ、小屋主になりました山賊と対面する。壁にはモーゼル拳銃や猟銃、獣の皮がかけてある。とはいえ山賊の頭目は物腰も柔らかく、狸に化かされた話などを面白おかしく話すばかり。著者は短刀を忍ばせていたが、結局何事もなく朝を迎え、自分のものである山小屋の宿泊代を山賊に支払い下山する。ところが下山後この話が漏れて富山、岐阜、長野の3県連合で武装して山狩りをするようになるのだが、どういうわけか、著者が一人で山賊と交渉するはめになる。そして結局、これもなぜだか彼らの身元保証人になり、協力しあって黒部の登山ルートと山小屋を支えるようになるのである。今年の夏山は、本書内容をなぞる山旅となった。(続く) (院長)

新人歯科衛生士 奮闘記!

その②私とMFT



歯科衛生士
西本 春希

私は昔から子どもが好きでした。そのため、子どもと接するMFT(舌癖の機能トレーニング)のお仕事は、私自身楽しみながら指導させてもらっています。過去の写真と比べて明らかに表情が明るくなっていると、すごく驚かされると同時に、トレーニングの成果がでている実感がわき、嬉しく思います。

また、ずっと頑張っていた子がトレーニングを終えて卒業していくときも、やはりとても嬉しくやりがいを感じます。そんな子どもたちの成長する姿をMFTのトレーニングを通して見届けていくことが、私の楽しみです。

STAFF NEWS

新しい仲間が
増えました!

はじめまして。7月から歯科衛生士として勤務しております、中出幸です。

患者様とのコミュニケーションを大切にし、歯のクリーニングだけでなく、患者様のお口の中がより良くなるように様々なアドバイスをしていけたらと思っています。よろしくお願いします。



歯科衛生士
中出 幸